

[令和元年9月6日受理]

陳情第1号
件名 [鹿屋市西原野球場の早期修繕に関する陳情]

提出者

鹿屋市野里町 3529-1

鹿児島鹿屋ボーイズ

代表 福永 大作

賛同者

鹿屋市軟式野球連盟

理事長 伊藤 正夫

鹿児島県軟式野球連盟学童部

副代表理事 向井 和郎

鹿屋市軟式野球連盟学童部

代表 中村 秀一

第一鹿屋中学校野球部後援会

会長 迫田 裕一

【要 旨】

皆様方におかれましては、日頃より鹿屋市の野球に携わる私どもの活動に対し、多大なご理解並びにご協力を頂いておりますことを大変感謝申し上げます。

この度は、串良平和公園野球場並びに屋内練習場、屋内ブルペン等の整備をしていただき、野球に携わる我々、並びに子ども達にとって、大変プレーしやすく、近隣市町と比較しても野球に関する環境が整ってきていることを実感いたします。

我々も幼少の頃より野球をしてまいりました。鹿屋市に生まれ育ち、非常に身近で親しみのある場所が西原野球場です。しかしながら、老朽化が進みプレイヤーや応援に来られる方々に対して決して安全に安心して楽しめる場所ではなくなってきています。中西市長の政策方針として、スポーツ施設再配置計画を挙げていらっしゃいます。西原野球場が取壊しになるという話も耳にしましたが、串良の平和公園野球場と西原野球場両方で野球ができる環境を作っていただけるよう計画の見直しをお考えであるとお聞きしました。実際、学童少年野球、中学軟式野球、高校野球、社会人軟式野球、また、冬季のシーズンオフには韓国より長期キャンプにいられて西原野球場を利用されています。軟式・硬式問わず、市民はもとより海外の方々も使用され、利用者数も大変多いと思います。

しかし、先に述べたように、大規模改修を行った串良平和野球場に比べ、西原野球場は非常に危険であります。バックネット裏の観覧席で観戦していた際に、ファールボールがネットを突き破って入ってきたこともございました。また、先日、第一鹿屋中学校主催の大会において、外野手がファールゾーンに飛球を追いかけて行った際、壁に激突し脳震盪を起こしたこともありました。大事には至りませんでした。打ちどころが悪ければ大事になっていたと思います。また、現在、内野グラウンドにおいて、水はけがよくなるために埋めた軽石が地表に現れてきており非常に危険です。また、スコアボードについても、表示されている数字もはっきり分からず、修繕が必要です。

スポーツにおいてケガはつきものですが、環境が少し改善できていればケガをせずに済むことも多くあります。安心して競技し喜んで見学できるよう西原野球場の早期修繕をお願いします。

記

○陳情事項

- 1 一塁側内野芝生席に入るための階段、手すりの設置
- 2 内野バックネット（耐久年数超過）の全面張り替え
- 3 球場内壁のラバー全面設置
- 4 左翼から三塁側まで全面、駐車場への飛球防止ネットの設置
- 5 内野グラウンド土の入れ替え
- 6 スコアボードの修繕